



ウサギの絵や飾り物などが展示されているギャラリー

# 高齢者手作りウサギ

区役所で展示 施設の100人制作

小倉北

社会福祉法人ふらて福 利用する約100人が昨

祉会（八幡東区山路松尾町）の高齢者ケア施設を

年末から約2カ月かけ、今年の干支のウサギをテーマに制作した絵画や書、飾り物などの展覧会が2月2日まで、小倉北区大手町の区役所市民ギャラリーで開かれている。

美術展は、現代美術センターCCA北九州（八幡東区尾倉）と同会が協力して企画。色鮮やかな着物をまとったウサギのぬいぐるみや干支の切り絵、通所中の100歳の男性の書、脳梗塞の後遺症に悩まされながら作ったという置物もある。

同会ケアハウス恵迪館主任の野田康之さん（32）は「展示を目指して制作する利用者の表情は生き生きと輝いていて、諦め

ずによれば素晴らしい作品ができていくのを感じてほしい」と話した。

（中嶋仁美）

西日本新聞（H23.1.19朝刊に掲載）